

# (第6期) 第10回さいたま市公民館運営審議会 議事録

## 1 開催日時

平成25年5月28日(火) 午後1時30分から午後3時30分まで

## 2 開催場所

生涯学習総合センター 7階講座室1・2

## 3 出席者名

〈委員：10名〉

- ① 楠谷 忠洋 委員長
- ② 安藤 聡彦 副委員長
- ③ 岩井 正三 委員
- ④ 柿塚 一二三 委員
- ⑤ 加藤 久美子 委員
- ⑥ 鶴見 清一 委員
- ⑦ 船木 正子 委員
- ⑧ 青木 光美 委員
- ⑨ 長岡 綾子 委員
- ⑩ 高後 仁 委員

〈拠点公民館職員：9名〉

- |                |        |
|----------------|--------|
| ① 北区 大砂土公民館長   | 塚田 和正  |
| ② 大宮区 桜木公民館長   | 斎藤 隆   |
| ③ 見沼区 大砂土東公民館長 | 鶴見 道子  |
| ④ 中央区 鈴谷公民館長   | 足利 英之  |
| ⑤ 桜区 田島公民館長    | 戸張 豊一  |
| ⑥ 浦和区 岸町公民館長   | 横田 隆夫  |
| ⑦ 南区 文蔵公民館長    | 鈴木 弘   |
| ⑧ 緑区 大古里公民館長   | 三上 富士夫 |
| ⑨ 岩槻区 岩槻本丸公民館長 | 斉藤 典男  |

〈事務局：6名〉

生涯学習総合センター

- ① 館長 石塚 晃
- ② 副館長 細見 俊孝
- ③ 主幹 小川 栄一

- ④ 主幹兼事業企画係長 森田 隆之
- ⑤ 事業企画係主査 齊藤 明彦
- ⑥ 事業企画係社会教育指導員 橋本 佐度子

#### 4 開 会

出席状況の確認、第9回審議会議事録の承認を経て議事に入った。

#### 5 議 題

- (1) 公民館職員アンケートについて
- (2) 答申「社会変化に対処する公民館のあり方について」の概要（「さいたま市の公民館の在るべき姿」）について
- (3) その他  
さいたま市人権教育推協議会委員の推薦について

#### 6 配布資料

- (1) 前回（第9回公民館運営審議会）のまとめ（資料1）
- (2) 公民館職員アンケート集計結果（さいたま市公民館運営審議会資料作成用）（資料2）
- (3) さいたま市公民館運営審議会 答申「社会変化に対処する公民館の在り方について」の概要（案）（資料3）
- (4) さいたま市人権教育推進協議会委員の推薦について（依頼）（資料4）

#### 7 公開・非公開の別

公開

#### 8 傍聴者の数

0名

#### 9 会議

- ・会議は委員の半数以上が出席しているので、成立。

#### 10 審議内容

- (1) 事務局より、資料1、2に基づき、前回（第9回公民館運営審議会）のまとめ、及び公民館職員アンケート集計結果について説明

楠谷委員長	ただいま前回のまとめ、及びアンケート集計結果についてご説明いただきました。ご質問等ありましたらお願いします。
船木委員	私もPTAで公民館を使っただのですが、資料2の4位の取り組みの、地域団体の優先的な部屋の使用のルールを知りませんでした。この地域団体にPTAも含まれるのですか。
森田主幹	ご相談を受けて、その団体が地域のためになるということであれば、優先

	的に使っていただいています。
加藤委員	資料2アンケート結果について伺います。職員の方は、どうやって我々利用者、市民サイドのニーズをつかんでいるのでしょうか。
森田主幹	まず講座が終わりますとアンケートをとって利用者の声を聴いています。それから、日常、講座担当の者が公民館登録団体の方と窓口での世間話等する中で、利用者のニーズ、地域の動向、要望などあれば、吸い上げています。特に高齢者学級では多くの方に話を聴いています。公民館によっては、前年度の利用者の方に相談を持ちかけ、プログラム作成時に参考にさせていただいています。地区の文化祭でも要望が出ますので、そこでも地域のニーズを把握しようとしています。また、自治会長、社会福祉協議会事務所に出入りしている方からお話を伺い、事業につなげたりする場合があります。
鶴見委員	アンケートの集計結果について質問です。この順位は、どのようにつけたのですか。
森田主幹	1位については8点、2位については7点と点数制にして、1位をつけたところが多かったのが「主催事業の充実」ということになっています。
鶴見委員	この審議会ですべて話し合われてきたことは、使いやすい公民館でありたい、ということだったと思います。しかし、この集計結果をみると、使いやすいといえるのは、3位の明るく開かれた公民館運営にあるのかなととらえられるのですが、1位の主催事業の充実はよくわかります。2位の快適で安心・安全の施設管理ですが、これは、建物の管理ですよね。利用者としては、管理も大事ですが、まず利用者の方を見てほしい、と思います。
楠谷委員長	事務局の方がいかがですか。
細見副館長	公民館の職員としては、主催事業の充実、いかにいい事業ができるかに一番力が入っているのでこういう結果になったのだと思います。いかにしていい施設管理のもと、いい事業ができるか、これが前提にあつての明るく開かれた公民館運営が出てくるのだと思います。 ここで課題が少し見えてきた気がします。公民館の職員が感じる大事にする部分と、利用者の方が、職員に大事にしてほしい部分とのギャップがあると思いますので、それについて十分議論いただいて答申の中に盛り込んでいきたいと思います。
楠谷委員長	私もアンケート結果を見て、自分ならどこに○をつけるだろうと考えたとき、やはり3位の明るく開かれた親しみのある公民館運営になると思いました。そして1位にしても2位にしても公民館職員の管理する立場からの意見だと受け取りました。これらの評価、受け取り方は、今後慎重にとりあげなければならないと思います。
岩井委員	私は資料2の最後にある職員の具体的な意見の例を興味深く読みました。ここに見られる生の声を掘り出す工夫がほしい、どう掘り出していったらいいかと考えさせられます。
森田主幹	職員の生の意見を興味深く見ていただいてありがとうございます。こうい

	った意見を答申に反映させて理想の公民館像をいきいきしたものにしていきたいと思います。
楠谷委員長	こういう具体的意見を織り込みながらの方が、皆様に理解いただけると思います。
安藤副委員長	初めは、私も各公民館 1 人しかアンケートにこたえていないのかと思いましたが、1 人の代表でも、かなり公民館の現状がよく浮かびあがってきたと最終的には安心して読ませてもらいました。 市民が求めている公民館像と、公民館の内側からの公民館像とのある種のズレをどうしていくかが答申の中の大きな課題ではないかと思いました。 それから先ほどの船木委員からの意見にあった地域の団体が優先的に公民館を使えることなどは、暗黙のルール、慣習みたいな形になっているのですか。
森田主幹	公民館の利用の中には特別利用というものがありますが、普通の利用の中に埋もれてしまっている現状もあります。老人会の方などでは慣習的なところもあります。
細見副館長	特別利用に関しては、基本的には敬老会、自治会などが中心です。その他の団体については、公民館によって地域性があり違いがあるので、あえて広報していない部分もあります。 それから 7 位の利用者のマナーの向上についてですが、公民館は貸館という意識が強くなってしまっている、それは誰もが広く利用できる形にしたからなのですが、今までの自分たちの手づくりの公民館という色が薄れてしまっていることへの残念な気持ちがアンケートの結果に出ていることをご理解いただきたいと思います。
青木委員	2 位の施設管理...が後ろの順位に比べて、3 位や 6 位が上の方に来てくれるのが理想ですが、これは今の苦しい現状を表していると思います。利用者の側も自分たちの公民館なのだという使い方をし、そのように意識してもらえよう伝えられたらいいと思います。
加藤委員	具体的意見を読んで私も考えました。具体例をいいますと、「会議室は座学形式の利用に限る」ということも起こります。介護予防の事業などの時に部屋を使いたいとき困ってしまいます。利用者ニーズについて、市民サイドと公民館を管理する側が日常的に声をかけあって、コミュニケーションをとって意識を共有していくことが根っこの部分に必要なだと思います。
鶴見委員	7 位の 1 番下「他館や地区外の登録団体が使用することが多い」とありますが、これって奨励していいのではないかと思います。 さいたま市の公民館数は 59 館もあります。自分たちの公民館としての外せない枠もあろうかと思いますが、よそから来た団体にも使いやすく、受け入れていけるようなれば、よりさいたま市らしくなると思う。さいたま市全体のことも考えて一番基本的な共通点的なものを取り出していく必要もある時期かと思っています。

長岡委員	<p>私なりにアンケート結果を見させていただきました。</p> <p>1位の問題点の最後「他の公民館が類似の講座を実施している」について、さいたま市はこれだけ広く、館数も多い中、類似している講座があってもかまわないと思います。皆さんで興味のあるものであれば、しっかり選択していくと思います。</p> <p>私は大久保公民館をよく使うのですが、最近「骨粗鬆講座」に参加しました。そのあとアンケートに答えたのですが、次にどういう講座がほしいか、施設に関しても含まれていて、とても良くできたアンケートでした。職員に聞きましたら、コンナレや病院の方などから情報を得たといいます。非常に人気の高い講座で3年前から行っているそうでした。職員が情報収集のために色々なことをしていることをとてもうれしく思いました。</p> <p>3位の「明るく開かれた公民館運営」の問題点として「開かれた公民館運営、公民館のあり方とはどのようなものか話合う機会をもつこと」と職員が自覚していることがとても重要だと感じました。</p>
------	--

(2) 事務局より、資料3に基づき、さいたま市公民館運営審議会 答申 「社会変化に対処する公民館のあり方について」の概要(案)を説明

楠谷委員長	ご質問ありますか。今日の議題のメインにあたるかと思えます。
加藤委員	資料の「人づくり」と「コミュニティづくり」の間に人と人がつながるということの書き込みが必要だと思います。公民館にはグループで来ます。本を読むのでも1人で読むのとグループで読むのでは違う。色々な小グループ、団体がコアになってそこにあること自体が大事だと思うのですが、ここにはそういうものが見えないのです。また、コミュニティの種類には、自治会などの地域コミュニティ、障害者の問題や子育てなどそれぞれテーマを持つテーマコミュニティ等があります。その部分にも触れた方がよいと思います。
細見副館長	まず、個人で充実していただいて余裕が出来、そこを地域に還元していただくための人材育成につなげるのが公民館、センターの役割です。今、公民館では、子育てサロンサポーターのスキルアップ研修をして、公民館に還元していただいています。
鶴見委員	人づくりは個人から始まると思います。公民館の活動以前にその人の考え方が大事だと思います。活動を通じ自然にできるグループが理想的です。
楠谷委員長	<p>昭和49年の社会教育審議会の答申で、公民館の性格をコミュニティセンターの性格を含む広い意味での社会教育の中心的な施設として規定する。地域住民の多様な日常的な学習意欲を喚起しながら特に住民のコミュニティ形成と人間形成という公民館の役割を遵守すると謳っております。また、公民館は住民の公共の館として、公開性、中立性のうえにすべての住民に広く開放され、利用されるべきであるとあります。</p> <p>今まで積み上げてきたものを何らかの形で答申に出していきたいと思えます。</p>

(3) 事務局より資料4に基づき、さいたま市人権教育推進協議会委員の推薦について（依頼）を説明後、楠谷委員長を推薦することを確認

(4) その他

- ・ 次回は、7月23日（火）13時30分から生涯学習総合センターにおいて開催することを確認した。その中で、団体登録のあり方について、委員の意見を伺うことをお願いした。
- ・ 6月25日（火）13時30分より、勉強会を生涯学習総合センターにおいて開催することを確認した。

11 閉 会